

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21番地8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

令和8年七峰会新年会開催

山郷館黒石グループ 主任 佐藤 路子

令和8年1月7日
(水) 新年の門出を祝う行事として、令和8年社会福祉法人七峰会新年会を弘前市『フォルトーナ』にて開催しました。ご多忙の中、弘前市長の櫻田様、黒石市長の高樋様、平川市長の工藤様をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、にぎやかで温かい時間を共有することができました。



初めに職員表彰が行われ、合同研究発表会の入賞者3名、勤続30年の職員2名、優良運転者免許証交付職員37名が表彰され、会場からは、仲間の活躍を心から称える空気に包まれ大きな拍手が送られました。地域福祉を支える現場の力強さを改めて感じられるひと時となりました。

職員表彰後は、大平理事長からは、『何より重要なのは、一人ひとりの職員が良い職員となり良いサービスを提供できることである。その為には一人ひとりがプライドを持ち、「選ばれる七峰会」「持続可能な七峰会」となるよう力を合



わせる一年にしよう。』と訓示がありました。そして、今年

は山郷館黒石グループが当番施設となり、アトラクションで余興を担当し、日本三大流し踊りの一つと称される「黒石よされ」を披露させていただきました。黒石出身職員の発想や工夫と、楽しく見ていただけるような構想を複数の職員で練り、児童発達支援センター「花りんご」の職員が笠や手花を作成しました。踊りは、事業所ごとに練習に励みました。入所施設の若手職員からのアイディアも組み込み多くの職員の力が結集されたものが、当日の会場を華

やかに雰囲気にしたように思います。軽快なリズムと躍動感ある踊りに、地域文化を共有しながら新年を祝うということができたように感じました。新年会にて新たな年の門出を皆様と祝えたことに感謝し、その場で生まれた笑顔と交流を励みに、日々の支援にも一層力を入れて参ります。

各施設での活動紹介

拓心館グループ

新年☆おもちつき会

児童発達支援センターはあと

児童指導員 福土 智恵

1月7日に、はあとで恒例行事となつているおもちつき会を行いました。おもちつき会は平成30年から始まり、今年で8年目になります。ご家族の方も多数参加され、総勢55名の大にぎわいの会となりました。子どもたちは、ご家族と一緒に杵を持ち上げ「よいしょ！」のかけ声に合わせてぺったんぺったん！。おもちを丸めた後は、お雑煮、おしるこ、海苔、きなこのお好みの味付けをして、ご家族や保護者さん同士のおしゃべりに花を咲かせながら、つきたてのおもちを堪能していました。もち米の香りに包まれた中で、おもちをつく大きい音にびっくりした子、初めておもちを食べてみた子、おもちが食べないけれどどんな感じか触ってみる子などお子さんの様々な様子がみられており、五感がたくさん刺激されたおもちつき会となりました。



サンアップルホームグループ

新年を祝う会

グループホームアップル

介護職員 小山内 環

昨年7月末に弥生地区から高杉地区へ移転後、初めてのお正月を皆でお祝いしました。お正月という時間が少しでも伝わるよう、おせち料理をイメージして「赤飯、煮しめ、煮豆、栗きんとん、伊達巻」を利用者の皆さんと一緒に、味付けなどの調理を行いました。普段よりも品数が多く豪華な食事となり「お腹いっぱいだ」「美味しいものがたくさん食べれた、ありがとう」との声が聞かれました。喜んでいただくことができました。その後、利用者様と職員で歌唱をしながら昔を懐かしみ、思い出話に花を咲かせた楽しい会となりました。



サンアップルホームグループ

オイルハンドマッサージ ・メイク体験

特別養護老人ホームサンアップルホーム

介護職員 成田亜衣子

令和7年12月10日、POLA 藤代店より美容スタッフ2名の方がボランティアとして来園され、サンアップルホームの利用者様約30名を対象に、オイルハンドマッサージとメイク体験を行っていただきました。オイルハンドマッサージでは、心地よい香りのオイルを使用し、丁寧にマッサージをしていただきました。初めて「とても気持ちいいね」といった声が聞かれ、皆さま大変癒された様子でした。またメイク体験では、若い頃の思い出を懐かしく振り返られる方も多く、職員を交えて自然と女子トークに花が咲くなど、終始和やかな雰囲気になりました。アロマオイルのやさしい香りと、利用者様の笑顔があふれる、心温まる素敵な時間を提供していただきました。



山郷館弘前

節分行事

障害者支援施設山郷館

生活支援員 清野和香那

2月3日、節分行事を行いました。無病息災を願い、利用者さんは職員が扮した鬼めがけて、「鬼は外！福は内！」の掛け声とともに豆をまき、大いに盛り上がりました。今年の方角南南東を見ながら、厨房職員が作った恵方巻を食べ、利用者さんからは「おいしいね」「きれいだね」などの声が聞かれ、楽しい昼食となりました。

今年もイベントや新しい行事を企画し、利用者さんの笑顔がたくさんみられるよう、活動の幅を広げていきます。



シリーズ「かだる」

特別養護老人ホームサンアップルホーム
介護職員 北山 大地

今回はこの場を借りて私の趣味を紹介させていただきます！

私の趣味は「ホヤランプ」作りです。青森県観光物産館アスパムで売られていたホヤランプに出会ったことがきっかけでした。その時は買わなかったのですが、後から気になり自分でも作ってみようと思い、試し

に作り始めました。最初は失敗することも多くありましたが、試行錯誤を重ね、奇妙で奥深

さを感じる自分なりのホヤランプを製作できるようになりました。ホヤは中身を食べるだけでなく殻も活用できる素材です。またランプを替えることで、七色に光るものや金色に輝くものなど、さまざまな表情を楽しめるのも魅力です！この趣味を大切に続けていきたいと思えます。



利用者さん紹介

障害者支援施設旭光園

業務リーダー 船水 玲

今年で11年、施設入所と就労継続支援B型を利用しています。鳴海定博様を紹介いたします。

鳴海様は買い物外出が好きで、旭光園に居た時は土日の休みになると弘前市城東まで50分掛けて徒歩で買い物に行っていました。

施設改修に伴い高杉に引っ越しと決まり、弘前市内まで遠くこれから買い物に行けるのかと不安になったそうです。

しかし、鳴海様は引っ越し前から交通手段を調べ、「乗合タクシー」がある事を知り、タクシー会社へ直接連絡を取り、停留所や時間を確認していました。

乗合タクシーの往復予約を行い、岩木庁舎まで行き、そこから弘南バスに乗り弘前市内の店舗で買い物をする事が出来ています。初めて利用した時は少し緊張したと話されましたが、今は週1回の買い物外出を楽しみに毎日の作業も頑張っています。



職員も大丈夫か心配で何度も経路や時間を確認しましたが、本人の下調べが完璧であり信頼して外出を見守り、予定時間通り帰園され今では安心して見送る事が出来ています。

これからも本人のやりたい事、楽しみにしている事を存分に出来るよう支援していきます。

感染予防について

障害者支援施設青葉寮

主任サービス管理責任者 岡崎 亮

この時期、感染症といえはインフルエンザと頭に思い浮かぶと思いますが、福祉施設では一年中、感染症に気を付けながら利用者支援にあたってまいります。

施設では、日々の手洗い、手指消毒、換気・加湿、環境清掃など基本的な感染対策を継続しています。

また、令和2年の新型コロナウイルス感染症からより一層感染症には気を付け、職員も定期的な研修を通じて感染対策に努め、加えて職員の家族にも体調管理や日々の感染予防に気を使っていたいただき、施設内に感染症が入ってこないように気を付けています。特にマスク着用や日々の体調の変化に気付いた時は早期受診など徹底しております。

今後も当施設、法人施設では感染症の流行状況を注視しながら、利用者様の皆様が安心して生活環境づくりに取り組んでまいります。皆様引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

おらほのメニュー

黒石焼きそば

障害者支援施設山郷館へんごう

管理栄養士 藤田 麻弥

利用者さんにとって、生活の楽しみの一つとなっていて「食」。その中でも、特に麺の日は楽しみにされる方が多く、心待ちにされている方もいます。この日は、黒石市の郷土料理である黒石焼きそばを提供しました。もちもち食感の太平麺と甘いソースの味付けが特徴です。利用者さんの中には、黒石市の生まれではない方もいらっしゃると思いますが、これを機に、黒石市だけでなく津軽地方や青森県内にも数多くある郷土料理に目を向け、昔ながらの味付けや調理方法などを知るきっかけになればと思います。



外部講師として

七峰会総合福祉相談支援センターヒリフ
七峰会相談支援事業所ひらかわ

相談支援専門員 大久保悦子

令和7年11月21日（金）、弘前地区心身障害児者父母の会連合会が開催した『共生社会を考える集い』に講師の一人としてお呼びいただきました。障がいのある人の一生を6つの世代に分け、各世代の現状や支援、課題について共有しました。

私は、壮年期を担当し、入所施設・グループホームの情報を中心に、障がいのある方の高齢化に伴うニーズの多様化をお伝えした上で、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりの必要性を投げかけました。

当日は、総勢70名程度が参加され、保護者からは就学に関する質問が多数上がり、関心の高さが伺



えました。保護者や教育・福祉関係者などが子育てや障害福祉のために奮闘する姿を感じ取ることができ、とても有意義な時間となりました。

介護支援専門員 実務研修受け入れ

サンアップル居宅介護支援センター

管理者 大家千佳子

今年度の青森県介護支援専門員実務研修受講試験の結果は以下の通りです。

【受験者数】 716人
【合格者数】 130人
【合格率】 18・2%

七峰会では1名の職員が合格し、1月から実務研修を行っています。

当事業所では特定事業所加算Ⅱの加算を取得しています。要件の1つとして、『介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」等に協力又は協力体制を確保していること。』を受け、毎年、介護支援専門員実務研修受講試験に合格した方の実習を受け入れていきます。今年度も2月に1名の方を3日間受け入れる予定です。実習生を受け入れるために、居宅内職員で実習指導者の心構えを学

び、学習のねらいに沿った実務の分かりやすい伝え方を確認し、自分の仕事の見直す機会にもなっています。

介護支援専門員資格を目指す方に、少しでも多くの実際の場面を見て、学んでいただき、今後に活かしていただければ幸いです。



各施設グループのホームページでも情報発信中！



編集後記

今年は午年、そして60年に一度の丙午です。情熱と再生の年とされ、物事が動き出す節目とも言われます。この特別な年に、いま一度支援の原点を見つめ直し、利用者一人ひとりの暮らしに寄り添い、支援に力強く取り組んで参ります。

障害者支援施設 拓光園 相内 唯

委託事業

- 青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター ☎45224
- 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター ☎212400
- 弘前市委託事業 弘前市北部地域包括支援センター ☎211000
- 弘前市委託事業 弘前市委託事業 地域活動支援センターくればん ☎9040
- 山郷館サポートセンターくればん ☎5018

障がい者支援

主に知的・精神・身体

- 拓光園グループ 障害者支援施設拓光園 ☎2331
- 拓心館グループ 障がい者総合支援センター拓心館 ☎45220
- 津軽生活支援センター 就労サポートひろさき ☎45220
- 自立訓練事業「通勤寮拓心館」 児童発達支援センターはあと ☎5780
- エイブル 児童サービスセンター・れ・み ☎9060
- 生活介護事業所おくほ ☎7300
- ヘルパーセンターおくほ ☎7397
- 青葉もみじグループ 障害者支援施設青葉 ☎48231

主に身体・精神

- 旭光園グループ 障害者支援施設旭光園 ☎5155
- 山郷館弘前グループ 障害者支援施設山郷館 ☎2211
- 山郷館黒石グループ 障害者支援施設山郷館くろいし ☎3070
- 山郷館総合支援センター黒石 ☎5018
- 山郷館くろいし共同生活援助 児童発達支援センター花りんこ ☎9345

高齢者介護

- サンアップルホームグループ 特別養護老人ホームサンアップルホーム ☎2111
- サンアップルホームケアセンター ☎5330
- サンアップルヘルパーセンター ☎3758
- 認知症グループホームアップル ☎2778
- 認知症グループホームわかば ☎1176
- デイサービスセンターわかば ☎1165

相談

- サンアップル 居宅介護支援センター ☎2131
- 七峰会総合福祉 相談支援センターヒリフ ☎5740
- 相談支援事業所ひらかわ ☎5740
- 山郷館サポートセンターくればん ☎5018